

■オリックスブルーウェーブ後援会座談会

より神戸らしく…!!

日本一地元に愛されるチームに成長

◇出席者(順不同・敬称略)

オリックス・ブルーウェーブ後援会会長・(株)ノザワ最高顧問

野澤 太一郎

オリックス・ブルーウェーブ後援会副会長・神戸市社会教育委員

森本 泰好

オリックス・ブルーウェーブ後援会理事・兵庫県歩け歩け協会会長

蓮沼 良造

オリックス・ブルーウェーブ後援会理事・生田神社宮司

加藤 隆久

オリックス・ブルーウェーブ後援会理事・漫画家

丘 あつし

神戸市会議員

小山 乃里子

(司会) 本誌編集長

小泉 美喜子

—まずは、オリックスV2おめでとうございます。昨年と違い、大変嬉しいことに、今年はグリーンスタジアム神戸でのリーグ優勝になりましたが、ご感想はいかがですか。

野澤 ぼくは、優勝が決まる前日・九月二十二日にも球場へ見に行っていたんですが、ご承知のように引き分けで終わりました。それで翌日も出かけたわけですが、二

十三日も途中でひっくり返されて、六対五になったでしょう。そこへ出て来たのがD・J。あの人は、打つ時は打つけれど空振りもするので、どんなかなあと思っていたんです。けれど、後で聞いた話ですが、D・Jは代打で出た場合の実績がいんだそうです。ですから、仰木マジックでちゃんとその点を踏まえての起用だったんだと、感心しました。それから、やはり圧巻は十回裏。足の速い大島が出塁して、おあつらえ向きに次がイチロー。大島のスタートもよかったし、イチローの打ったサヨナラは、セ・パ両リーグ通じて何十年に一回あるかどうかという、素晴らしいものだったと思います。巨人の長嶋監督流に言うところの、まさにメイク・ドラマでしたね。

森本 イチローが、あれほどグラウンドで素直に喜びを表現したのも、はじめてじゃないですか？ 私は球場へは行けなかったんですが。

野澤 そうですね、飛び上がった喜んでいたらしい。ぼくは、大島のホームインを見るのに一生懸命で、その時のイチローは見えていません(笑)。

加藤 野澤さんのように現場で見てらした方も、盛り上がって大変だったようですが、神戸の街中も大変でした。二十二日から(生田神社の境内にスクリーンを置いて、応援していたんですが、引き分けてしまった。今年も昨年同様、フーケのお祝いケーキはある、白鶴の祝い酒・樽もある…)で準備は万端。それなのに、二十三日も逆転

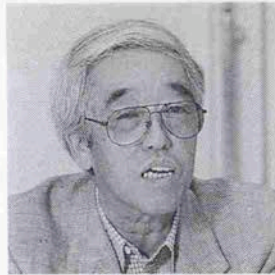




加藤隆久さん



野澤太一郎さん



蓮沼良造さん



丘あつしさん



小山乃里子さん



森本泰好さん

されたでしょう。去年は相手チーム・ロッテのガムを集まったみなさんに配って囃んでもらったんですが、今年は日本ハムのハムを配りました。そして六回には、拝殿横にある新能を行う舞台上上がって「みなさん、戦況不利です！ 拝殿に向かって二礼二拍手一礼しましゅう」と呼びかけたんです。それで拝んだ途端に、イチローがコインとホームランを打った。不思議なこともあるものやなあと、集まったみなさんも話していました。ところが九回、オリックスは2アウトになってしまつて、これは今日もダメかなとケーキを配る手配を始めたんですね。そうしたら今度は、D・Jがボーンとホームラン。十回には大島が打って、イチローのサヨナラでしょう。あんな劇的な試合は滅多にない、球史に残る試合でした。野澤 大島がホームインした時、球場でみんなが立ち上がったでしょう。日本人は興奮してもスタンディングオペーションすることはまれですが、一部の日ハムファン以外は、ワットと自然に立ち上がっていました。

森本 あの日は、球場裏の山まで、何とかナマで観戦しようというファンでいっぱいだったようですね。私が世話役として、オリックスを神戸に誘致しようと活動していた時に、目標に掲げていたことが二つあります。一つは、同じ街に住む者として、見知らぬ同士でも一緒に喜べるものを作りたいということ。野球は子供からお年寄りまで、非常にファン層が広いという利点があるでしょう。それからもう一点は、神戸発の情報を増やしたいということでした。フランチヤイズを持っていればニュースは必ず出るし、面白い試合があれば話題になって、さらに神戸が注目されます。この二点は昨年の時点で達成できていたと思います。

加藤 そうですね、震災関連のニュース以外、最近の明るい神戸の話題といえば、圧倒的にオリックスのことが多い。しかも、昨年果たされなかった地元・グリーンスタジアムでの優勝決定も、今年は実現しました。みなさ

ん、喜びもひとしおだったんじゃないですか。

小山 阪急ブレーブス時代からのファンである私の場合、相手が日本ハムじゃなければもつとよかったのについて思いましたけれど。上田監督を初め、阪急から日ハムへ移っている人が多いので、あちらのベンチに知り合いが多いんです(笑)。

★今年は、全メンバーが大活躍

蓮沼 去年は、イチローだけが目立っていた感があるけれど、今年はそうじゃないところもよかったですね。

丘 ぼくはあの日、大阪で仕事をしていまして、帰りの電車の中でラジオの実況放送を聞いていました。それで三宮に着いた時、ちょうどイチローがホームランを打った。これから家へ向かっても試合終了の間に合いそうにないと思ったので、生田神社へ行って、人垣の後ろの方からスクリーンで試合を見ました。イチローが打って、D・Jが打って、大島が打って、またイチローが打った。あの試合は、もしマンガに描いたとしても、あまりに作りのものにみえて怒られそうな、信じられないような展開でした。でも、シーズン全体を通して考えてみると、去年ほどハラハラするようなところがなかった。当然優勝が来るという感じがしていて、やっぱり来てくれたわ、という印象でした。

森本 今年、山田ピッチングコーチが大変だった、えらかったと思います。頼りない先発投手陣をよく引つ張ってくれて、日本一の中継ぎとリリーフ投手陣を育てあげました。ある意味では彼が、一番の功労者かもしれません。

加藤 そう、投手では特に、フレイザーが投げ始めた時は、へんなのが来たなあと思いました。フォアボールは出すわ、盗塁はタダみたいにさせるわで。

野澤 ぼくは、たまたまフレイザーが初登板した試合を

テレビで見ていたんだけど、素人目にも球が全部浮きよる、こんなピッチングではあかん……と思いましたね。それが後半、見事に立ち直った。森本さんのおっしゃるように、山田コーチの功績が大きいんじゃないかな。

小山 ちょうど、首位の日ハムと4ゲーム差になってしまった時だと思んですが、仰木監督と球場で話をする機会があったんですね。それで最後に「どうですか、優勝は。優勝してもらわなきゃ困ります」って言って別れました。それから、関学の後輩ということで、特に応援している田口選手。その二、三日前の試合で連続三振していた彼には「そんな調子で、私の目、ちゃんと見れんのかいな」って、ちょっと強く言ってますね。そうしたら、その日の試合で打ったんです。以来、田口くんは打てるようになって、オリックスは優勝。ハッパの効き目があったのかなと嬉しくなりました。

小山さんは、勝利の女神といったところでですね。

小山 優勝へ向かうのには、何かきっかけのようなものがあると思うんですよ。それがあの時期にあったのかなという気はしています。

蓮沼 田口を初め、今年はいろいろな選手の活躍が見えてきましたね。去年はイチローの連続出塁記録などがあって、陰に隠れてしまっただけだった。

小山 オリックスの選手はみんな大人なんです。個人的に選手と話してみると、イチローばかり……という思いはあるみたい。でもそれを押さえて、きつちりいいプレイができるんですね。これは去年もそうだったと思いますが、先ほど丘さんもおっしゃったように、今年の方が安心して見ていられる印象がありました。

★オリックスの強さの秘訣とは？

丘 でも、大阪や東京の人から「なぜオリックスは強いんですか」と尋ねられると困りました。めちゃくちゃ強



いという感じはないんですね。確かに1番から4番まで粒は揃っているし、バランスがとれていると思うんですが。

加藤 実際、今年の試合は、割と後半や最終回に逆転勝ちするパターンが多かったんじゃないですか。延長にもつれ込むとか。

森本 それはやはり、中継ぎや逃げ切り投手がしっかりとしていたからでしょう。

小山 「誰がエースや」って言われてしまう(笑)。

野澤 オリックスは打率でトップだし、得点もダントツのトップでしょう。ところが防御率は、前半なんて下から数えた方が早いくらいでした。後半は2番ぐらいまで盛り返したけれど、確かにちよつと先発陣が弱いかな。

森本 でも、外野手はいいですよ。攻・走・守の三拍子揃って突出したイチローはもちろん、レフトの田口、センターの本西の三羽がさすがとて面白い。ぼくは昔、アメリカの大きなスタジアムで、メジャーリーグのダイナミックなプレーを見ましてね。特に面白いと思ったのが、外野手が強肩

にものを言わせて投げ、サードで刺そうとするベース上のクロスプレーでした。グリーンスタジアムも大きいでしょう。オリックスも興奮できるプレーを見せてくれることを期待していました。

蓮沼 どこかのチ

ームのように、外野からの返球には中継が必要：なんてことはないですからね(笑)。

小山 かつて西武が強かった時代は、ピッチャーは誰、バッターは誰って強い要素がはっきりわかりましたけれど、今のオリックスにはそういうことがありませんね。他のチームが弱くなったのかしら。

蓮沼 それもあるでしょうね。後は、オリックスが他よりチームワークがいいというか、ピンチヒッターが打つ確率が高いとか、チャンスを生かすことに長けている感じがします。これはやはり、仰木監督の選手を見る目の確かさ、采配の妙に由来するんでしょう。

丘 選手の方には、いつ起用されるか、また逆にいつ降ろされるかわからないという緊張感が常にあるようですね。どの選手を行かせるか選べるということは、それだけ層が厚くなってきた証拠でしょうけれど。

野澤 せっかく打っている藤井が代えられてしまったりね。本場に、なぜ代えるのかわからない時もありました。が、それでもちゃんとピンチヒッターが打つてしまおう。丘 サラリーマン社会で、仰木采配のようなことがあつたら、かないませんよね。

野澤 例えていうなら、昨日せっかく支店長になれたのに、今日はもう外されたという感じがな(笑)。

小山 去年のことなんです。D・Jとニールに、球場からの帰りの電車で一緒になったことがありました。彼らは私と同じ六甲アイランドの住人なんですけれど、あそこは外国人が多く住んでいるし、あまり顔を知られていないので電車通勤なんですね。ちようど、ふたりともスタメンを外されていた時だったので、どうしてなのって尋ねたんです。すると、自分たちにもわからない「イツツア 仰木マジック」って、無然とした表情で答えました。私はその様子から、結局ふたりとも打たへんからあかんのや、きつともうクビやなあ：と思っていました。ところが、今年のあの活躍でしょう。ふたりが言っ

ていた通り、すごく大きな仰木マジックだったのかなあ
と感心しました。

野澤 森本さんとふたりでスプリングキャンプ陣中見舞
いに行った時に、外人がすっかりしたら今年もいける、
という話をしたことがありました。あのふたりがシャン
としたら、本当に今年もいけました。

加藤 他に今年は、馬場や福良、本西などの中堅選手の
地道な仕事之光っていた。彼らのような、いぶし銀の魅
力を持った選手は、他の球団にはなかなかいません。

★ますます神戸の球団らしく

森本 福良などは、故障が多くてかわいそうでしたが、
本当によくやっていました。オリックスの神戸の球団ら
しさという点では、今年はいかがでしたか。

加藤 グリーンスタジアムでは、選手紹介を「イチロ
ー・スズキー！」と英語のDJ風にしましょう。最初
はあれが耳障りで、従来通りに「バッター何番、誰それ」
とでいいのかいな...と思っていた。ところが去年、今年
とチームが強くなってくると、かっこよく聞こえてくる
から不思議なものです。逆に、オリックスの選手が他の
球場で普通に紹介されていると、しっくりこない。今で
は、他の球場でもDJ風をマネするところが出てきたで
しょう。神戸はオシャレ、そういう部分でも進んでいる
というわけです。

丘 ファンのマナーも、非常にいいです。九月二十二日
の引き分けが、もし甲子園球場でのことだったら大変だ
ったと思います。グラウンドにどんどん物が投げ入れられ
たりしてね。ところが、神戸ではそのようなことが全く
なかった。あれは応援団の人たちが「物を投げたりする
と、せっかく盛り上がりがある選手の気がそがれるから、
絶対やめましょう」と言ってまわっているんですよ。実

は、あの日に限らず、毎試合言っているそうです。ファ
ンのそういう努力が陰にある。

加藤 優勝祝いのケーキを配っている時にも、神戸人の
マナーのよさを感じます。みんな行儀よく並んで待つて
いて、気持ちのよいものです。

丘 我々、震災の時にも並びましたからね。あの混乱の
中でも、秩序正しくいられたんですから。

森本 オリックスには、ますます神戸の球団らしくなっ
てほしい。仰木監督やイチローのファクションもいいし、
考えてみればユニフォームもオシャレです。神戸はファ
クション都市をうたっているのですから、ますますスマ
ートな球団になってほしい。

★おしゃれなファンが急増

「グリーンスタジアムには、若い人や女性の観客が多い
のも特徴です。観戦している人たちのファクションも、
オシャレな気がします。

加藤 そうですね、生田神社での豆まきのエピソードも、
女性ファンの増加を表しています。豆まきに、ゲストと
して野球選手を呼ぶわけですが、阪急時代には、三年連
続日本一になった時でさえ、そんなに人が集まらなかつ
た。まだ阪神の選手を呼んだ方が、人が来るんです。と
ころが今、オリックスの選手を呼ぶでしょう。すごい数
の女性ファンが集まります。

小山 特に去年は震災後の優勝でしたし、強い球団にな
ったことで、ファン層がバっと広がりましたよね。

加藤 神戸に来た当初は球場でじゃがいもを配ったり、
今でも制服(ユニフォーム)を着て観戦に来た女性に入
場料半額サービスとか、いろいろな企業努力をしていま
す。外野を見ていると、看護婦さんや巫女さんの格好を
した人がいるんですよ。それがまた話題になって人を集

める。

野澤 とにかくファンサービスを徹底させるという方針があるんですね。他にもベストカップルを選んで記念品をあげたり、スコアボードの横に、本日も来場の団体様：と名前が出たりします。あれも当事者には、気分のいいものなんじゃないですか。

森本 ぼくが誘致活動をしていた時から、オリックス側に強調していたのは、プロ野球はサービス業、これまでの企業相手の仕事とは全く違いますよ、ということですから、せっかくグリーンスタジアムは新しくできているのだから、それなりの作戦を立てて集客するべきということでした。あそこなら、若いカップルがデートで来るのにもいい場所ですから。

加藤 島野さんが演じるマスコットキャラクター・ネッビーも人気者です。マスコットとして千試合出場を達成。スクーターに乗ってジャンプを披露したり、あれほど楽しませてくれるマスコットは、他球団にはいません。

丘 ファンサービスのアイデアは、仰木監督が出すことも多いという話を聞きました。

加藤 例えば多少の雨なら「お客さん、ぎょうさん来てはるのやから、やるべきや」と言う人らしい。近鉄時代からそうですが、サービス精神が旺盛なんですね。オリスター戦では、ピッチャーにイチローを起用しました。蓮沼 あれは「ニュースステーション」の久米さんと仰木監督との話に出たものを、本当にやらせてしまったという経緯らしいです。それで、野村監督はけしからんと怒ったけれど、長嶋監督は好意的だったのが面白い。

小山 仰木監督と長嶋監督って、タイプとしては似ているんじゃないか。いよいよ、このふたりのマジックとカンピュータが対決する日本シリーズがはじまりますが、みなさん予想はいかがですか。私はとにかく、神戸で勝ちを決めてほしいというがあるので、四勝一敗かなと

思うんですが。

蓮沼 評論家の予想では、いずれにしても七戦目までもつれると言われていて、ぼくもそうなる気がします。でも、もちろん三敗してもオリックスの勝ち。

丘 ぼくの予想は、二敗で勝ちかな。

加藤 去年のことがあるので、選手もファンも早く決まればいいなと思っているでしょうね。出来れば四勝〇敗、神戸で決めてほしいです。

森本 昔、いじわるな記者に「あんた、もともと、どこファンや」と聞かれたことがあるんですが、すかさず「アンチ巨人や!」と答えたことがあります。そういう思い入れもあるので、巨人相手に負けないでほしいなあ。野澤 それで来年へとはずみをつけて、三連覇を達成してもらいたいものです。ドラフトでいいピッチャーが入れば：という希望もあるし、2軍からイチローに続く選手も上がってくるでしょうし、楽しみです。

蓮沼 地域に密着した球団ということで、県下の優秀な子供を、ゆくゆくは選手にまで育てあげられるシステムが作れたらいいですね。青少年に夢を与えるチームであってほしい。

小山 神戸にもドーム球場があつたらなあとか、夢はたくさんありますよね。でも、私は、ここまで来ただけでも感無量。パ・リーグ全体に人気のない時期もありましたけれど、今では、ぜひオリックスで野球がしたいという人も増えているようで、嬉しいことです。かつて近鉄で仰木監督が育て、現在は大リーグで活躍中の野茂選手が、帰国してオリックスでプレーしてくれるかも! なんて考えたりもして。オリックスって、どんな夢でも託せるような、そんな球団なんですよ。

〈10月16日神戸メリケンパークオリエンタルホテルにて〉

●内容

<1>アイデア部門

「阪神・淡路百名所」としてふさわしい施設、エリア・通り、名物・名品、イベントなどの新しいアイデアを募集します。全く新規のアイデアや現存する名所などを活用したアイデアなど、ユニークな提案をどんどんお寄せください。本人の発案によるもので、おひとり何通でも可。

<2>人気投票部門

阪神・淡路地区の施設、エリア・通り、名物・名品、イベントなど(計画中のものを含む)で、あなたが行ってみたいスポットや好きなものを選んで(10以内)お答えください。

<応募例> ※各部門共通

- 全国的、世界的に話題となるような道路、街並み、商店街など
 - 異人館に代表される歴史的な建物や歴史・物語で名高い場所、記念物など
 - 他の地域には見られない個性的な施設や公園、ランドマークなど
 - 阪神・淡路の芸術をアピールする美術館や博物館、建造物など
 - 全国高校野球に代表される全国的、世界的に話題となるようなイベント
 - 美味しいものやファッションなど
- 阪神・淡路の名物・名品

平成8年12月末日まで ※当日消印有効

●応募方法

官製ハガキまたは封書、FAX、電子メール(インターネット)のいずれかでお送りください。

<1>アイデア部門

「アイデア部門」と明記のうえ、①アイデアの名称②アイデアの内容、セールスポイント③氏名(団体名)④住所⑤電話番号を必ずご記入ください。あればイラストや写真も同封してください。おひとり何通でもご応募いただけます。

<2>人気投票部門

「人気投票部門」と明記のうえ、①行ってみたいスポット、好きな名物、イベントなど(10以内)②氏名③住所④電話番号を必ずご記入ください。

●応募先

〒650 神戸市中央区中町通2-1-18日本生命神戸駅前ビル11F
財団法人 阪神・淡路産業復興推進機構「阪神・淡路百名所」係
TEL.078-360-1058 FAX.078-360-1137
E-mail:meisho@hero.or.jp

●審査・抽選方法

アイデア部門については、財団法人 阪神・淡路産業復興推進機構内に設置する審査会において厳正な審査を行い、入賞者を選定します。また、人気投票部門においては全応募の中から抽選で当選者を決定します。

●賞・その他

<1>アイデア部門

最優秀賞:50万円(1名様) 優秀賞:5万円(10名様)

<2>人気投票部門

3万円相当の旅行券

(全応募者の中から抽選で10名様)

●対象

国内外のあらゆる個人、アイデア部門についてはグループも可。但し、当プロジェクトに關与する個人、企業、団体は対象外です。

●発表

入賞者、当選者は平成9年3月下旬に新聞紙上およびインターネット上において発表するとともに、直接郵便で通知します。

※当選者のみ、応募アイデアの著作権は、財団法人 阪神・淡路産業復興推進機構に帰属します。応募原稿の返却はいたしません。

財団法人

阪神・淡路産業復興推進機構

〒650 神戸市中央区中町通2-1-18
日本生命神戸駅前ビル11F
TEL.078-360-1058 FAX.078-360-1137
ホームページ <http://www.hero.or.jp/hero/meisho>

「阪神・淡路百名所づくり」推進委員

堺屋 太一(作家、経済評論家)
安藤 忠雄(建築家)
石井 威望(慶応義塾大学教授)
北本 正孟(株式会社カントリー)
小泉 美喜子(月刊「神戸っ子」)
月尾 嘉男(東京大学教授)
長瀬 文男(株式会社イマジカ)
藤本 義一(作家)
宮嶋 茂樹(写真家)
脇田 直枝(株式会社電通アイ)

協力:JT、社団法人 日本観光協会

H a S H i N

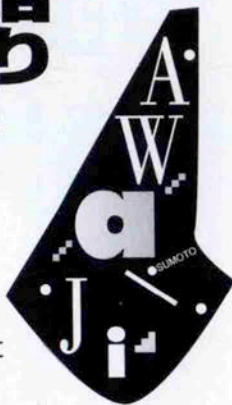


●MIKI
●AKASHI
●KOBE
●ASHIYA
●TAKARAZUKA
●KAWANISHI
●ITAMI
●NISHINOMIYA
●AMAGASAKI

阪神・淡路 百名所づくり

もっとイキイキ。もっとドキドキ。
阪神・淡路の新しい名所を
あなたが提案してください。

「阪神・淡路百名所づくり」は国内外から観光客が訪れたいような個性的、独創的な施設、エリア、通り、名物・名品、イベントなどを選定し、つくって震災復興に役立てようとするものです。この度「アイデア部門」と「人気投票部門」の2部門に分けて皆さまから広く名所候補を募集します。ユニークなアイデア、お気に入りのスポットなど、あなたのご意見をどんどんお寄せください。



<阪神・淡路百名所づくり 対象エリア>

神戸・阪神地域（神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、明石市、三木市）
淡路島内（洲本市、津名町、淡路町、北淡町、一宮町、五色町、東浦町、緑町、西淡町、三原町、南淡町）

<阪神・淡路百名所づくり 対象エリア>



女性記者が語るオリックスの素顔

来年のV3のチャンスも十分

出席者（順不同）



若林みどり
〈デイリースポーツ〉



中村恵美子
〈AM神戸〉



坂本圭子
〈関西テレビ〉

——中村さんはラジオのキャスター、若林さんは新聞記者、坂本さんはテレビのディレクターと、それぞれ違う分野で活躍されているわけですが、プロ野球やオリックスに関わって、どのくらいになられるんでしょうか。

中村 私は、もともとテレビやラジオのリポーターとしてマスコミに入って、もう九年ほどになります。バラエティ番組や音楽番組を担当しながら、ずっと何らかの形でスポーツ番組にも関わってきました。オリックスの番組担当になったのは、去年からです。

若林 私はオリックス担当になって、今年で三シーズン目です。

坂本 私はスポーツ担当になって三年目。オリックスの担当になったのは、ちょうど去年イチローが、二百十本ヒットを打った後でした。

——みなさん女性ですけれど、最近は女性のスポーツ記者やキャスターが増えてきているようです。取材をする上で、女性ならではのメリットはあるのでしょうか。

若林 そうですね、今年になってスポーツ新聞五紙に女性記者が揃いましたし、ずい分増えていると思います。

中村 女性で有利な点は、それでもやはり報道陣全体の中では数が少ないです。

いので、監督や選手に顔や名前を覚えてもらいやすいことでしょう。

坂本 マイナス面は、当たり前ですが、選手と男同士のつき合いができないこと。結局、プラスマイナスでゼロなんだと思います。

―選手とロマンズ：なんてことはないんでしょうか。

若林 残念ながら、ないようですね(笑)。プロ野球の選手って、良くも悪くも我が強い部分があります。奥さんは、そんな人に合わせなければならぬ。大変そうだなあ、私にはちょっと務まりそうもないって思っています。

★氣負いはないが氣迫がある

―オリックスらしさ、オリックスの魅力という点、どんな部分になるんでしょうか。

中村 去年、はじめてグラウンドを訪ねたんですが、十年來の友達と話しているような、選手のみなさんがとても氣さくな方だという印象を受けました。良い意味で、普通っぽいというんでしょうか。大学生みたいな雰囲気、変な氣負いが無い。それでいて、いざ試合になるとプロらしい氣迫で、素晴らしい力を発揮するタイプのチームなんですよね。

若林 仰木監督は、近鉄の監督時代

や評論家時代にオリックスを見ていて、どうもおとなしすぎるというイメージがあったそうです。実際、監督就任一年目には、選手をふるいたせるのに苦労したとか。やはり優勝できるチームになったのは、監督

の力が大きいでしょう。それに、新聞やテレビという媒体に出る時の効果をすごく考えていて、チームのイメージを拭おうと努力されました。鈴木一朗をイチローに変えたのも監督だし、演出上手ですよ。

坂本 私は、本格的にオリックス担当として選手とつきあうようになったのは、昨年の優勝後、キャンプに入ってからなんです。それで、スターになってしまった後に知り合うと、打ち解けてもらうのに大変かなあと心配していました。でも話してみると、全然そんなことはなくて、何というか、大人だなという印象で。

オリックスの前は、近鉄の担当だったんですが、あそこは特にピッチャーに、すごく個性の強い人が多いんです。だからわりと強烈なのに慣れていたもので、比べて余計に、紳士的な感じがしたのかも知れません。それから、グリーンスタジアムがキレイなのが嬉しかったですね。まわりに緑が多くてさわやかで、来て良かったと思える球場。お客さんに若い人やファミリーが多くて、オシャレ

なのにも驚きました。藤井寺球場のおじさん系とは、明らかにファン層が違う(笑)。

―今年、どんな選手や試合が印象に残ってらっしゃいますか。

中村 今年から参加のフレイザー。調子が悪くて、途中でファームに落ちましたよね。その時の練習を見ていたんですが、非常に一生懸命なんです。外国人選手だと、ひとりで別に練習するケースも多いようですが、彼はファームの他の選手と一緒に練習して、もくもくとまじめに練習している。その姿を見て、何だか無性に感動しました。その後、活躍してくれた時は、嬉しかったですね。

若林 去年はイマイチだったニールの活躍も、印象に残りました。仰木監督は、選手は適当に管理するけれど、後は自主性にまかせる方針。でも、きちんと選手の状態を見ているから、一番いいところで起用してくれるんですね。監督はめったに怒鳴ったりすることはないんですが、たまにびっくりするぐらい激しく怒ることがあります。でも「俺が怒ったヤツで、ダメになったのはおらん」と、フォロワーも忘れない。それに昔は、仕事もするけれど、遊びもハデという豪快な選手が多かったといえます。オリックス合宿所の「青濤館」には門限がないので、夜の神戸

の街へ選手が遊びに行くこともあるようです。今年、仰木監督は女優の浅野ゆう子さんと一緒に、神戸の観光大使に任命されましたよね。それで監督自身も「観光大使としての活動や！」と言って、ちよくちよく飲みに出るらしい(笑)。

坂本 私には、やはりイチローはすごい選手だなと思いました。例えば、八月二十三日、名古屋での近鉄戦。ローズが打ったのを、イチローが刺したんですが、本人も思わずガッツポーズをとるほど、見事だったんですよ。普通、守備で見るといえばショートやサードだけれど、ライトであれだけエキサイティングなプレーが見せられる選手は、なかなかいません。それから特にすごいと感じたのが、優勝決定前日の日ハム戦。盗塁を決めているんですが、見ている方がヒヤッとするようなタイミングだったんです。よくあの場面で走れるな、すごく度胸が必要だったろうな……と思って、私はドキドキしながら見ていました。ところが彼は「ああいう場面で成功させるためにこそ練習を積んでいる。だから平常心で走れました」という内容のコメントを出しているんですよ。本当に野球が好きで、常に野球を中心に考えているんだなと感心しました。他に、イチロー以外では羽田、豊田……

若手の活躍が印象に残っています。

若林 今年はレギュラー投手陣が苦しかったので、下の人たちが支えた形ですよ。

中村 私も、八月にあった豊田の初完投試合は、よく覚えています。彼は二十八歳でプロ入りして、ラッキーな形の初勝利でしたよね。それから、故障を治して初登板した伊藤隆偉の試合にも感動。手術するとシーズンに間に合わないことはわかっていただけ治療に専念して、その後、辛抱強く練習する姿をずっと見ていたから、余計ジンとししました。

坂本 ジーンとしたというと、八月二十一日の日ハム戦で、馬場がサヨナラヒットを打った時も、そうでした。ほら、ベンチへ戻って来る時、順にナインやコーチの手を叩くでしょう。馬場は、よっぽど嬉しかったのか、半分わけがわからなくなっている感じで、誰もいないところで手を叩こうとして空振りしてしまつて。彼らしい素直な喜びが、その動作から伝わってきましたね。

★日本シリーズ 神戸で胴上げ

——日本シリーズの予想はいかがですか。

若林 オリックスは観客が多いと勝てない……なんて言われてきましたけ

れど、今年は、去年の日本シリーズの経験があります。免疫がついたというか、舞台慣れしているでしょうから、いけるんじゃないですか。去年はあれよあれよという内に終わってしまった感がありますが、今年はずっと持ち味を出せると思うんです。それから、ヤクルトの野村監督がよく言っていることですが、仰木監督と長島監督って性格が似ている部分があるらしいです。選手に対して「乗せ上手」なところとか。長島監督は、ヒットを打って戻ってきた選手を抱きしめてほめたりして、仰木監督にそこまでのオーバーアクションはないですけど、確かに似ている。似たもの同士、面白い対戦になると思います。お互いの手の内が、何となくわかるんじゃないでしょうか。評論家の多くが言っているように、勝負は七戦目までわからないと思います。仰木監督は、近鉄の監督時代に巨人と二度当たっています

が、二度とも負けています。それに昨年のこともあるし、今回こそという気持ちがあるでしょうから、頑張ってくれと期待しています。

坂本 四連勝か四勝一敗なら、神戸で胴上げだし、うちの中継なので嬉しいんですけどね。

中村 私などが予想するのは、おこがましい気はするんですが、オリッ

クスはきつと、神戸のファンの期待に应运てくれますよ。オリックスファンの応援はおとなしいなどと言われますが、私には、必要以上のやましさがないだけという気がします。応援パフォーマンス自体に一生懸命で、ろくにプレーを見ていない状態ってありますよね。そういうことがないということです。静かだけれど、愛情のこもった応援。

坂本 そうそう、手書きの垂れ幕や



プレートでの応援も多いんですが、その内容がいいんですね。選手の試合出場回数とか誕生日とか、細かいこともよく知っていて「○○さん、お誕生日おめでとう」とか書いてある。あれは選手も嬉しいと思います。優勝して人気が出てからのファンには、例えばCMに出ているイチローを見て好きになったという人も多いと思います。きっかけはそれでいいんですよ、後は一過性ではない、ホンモノのファンになってほしい。

若林 今のオリックス人気には、Jリーグスタート時の人気に近いものがあると思います。球場へ行くことが流行りみたいな感じで、グリーンスタジアムの観客動員記録は塗り替えられいく。そこから今後、どれだけ固定ファンが生まれるかが問題です。

坂本 選手の方も、優勝したことでマスコミにちやほやされているところがありますが、特に若手の人には、それに乗って油断せずに、オフの間に地固めしてほしいです。小林、平井、中島など、みんなすごく潜在能力があると思うので、来年に向けてもっと頑張ってください、といったいです。

中村 投手陣では牧野や丸尾、他には斉藤、萩原、加勢など、活きのいい若手に、どんどん活躍してほしい

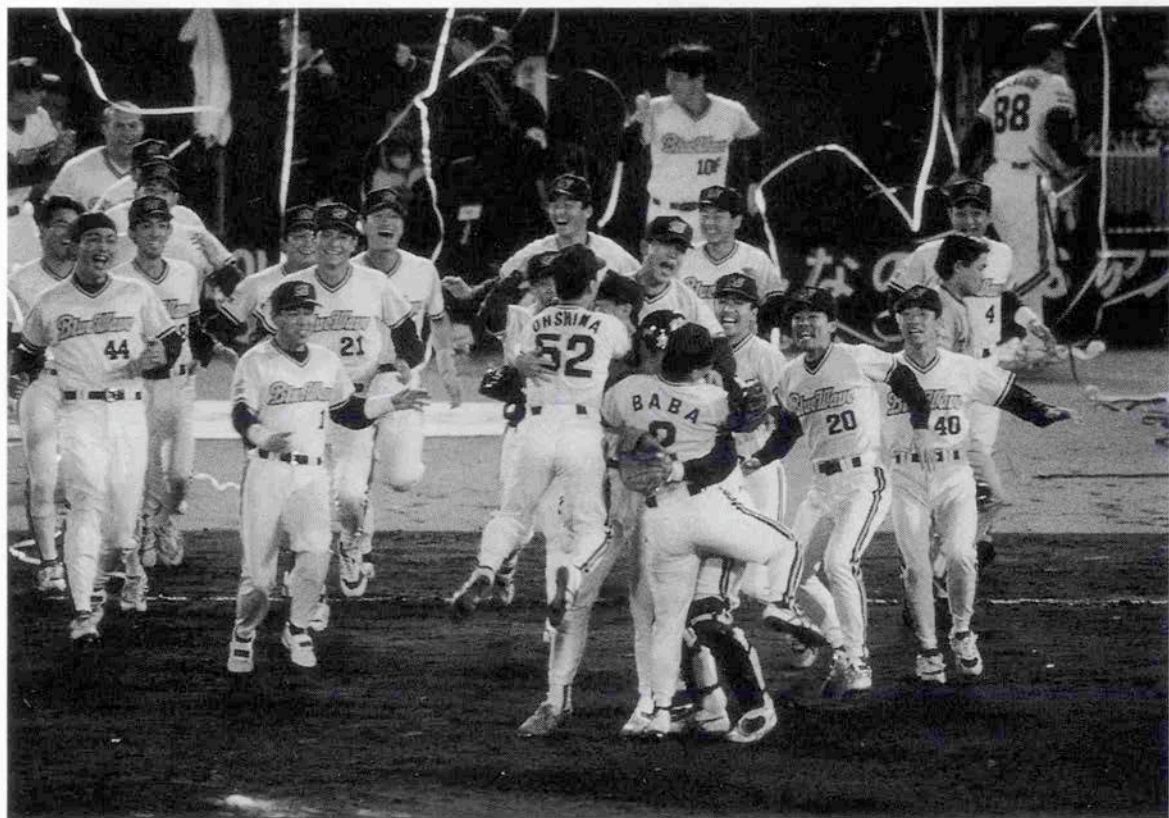
もの。淡いプレーが光る福良、馬場、本西のなど中堅選手も頑張っているの、上にあがってくるのは、なかなか大変だとは思いますが。

若林 オリックスって、あまり強そうに見えないけれど強い。ずば抜けた人はイチローぐらいだけれど、デカさん(高橋選手)や藤井、平井などいいプレーをする選手が多いんですね。今はまだイチローばかりが注目されて、彼自身それがわかっていて、今年は特にマスコミに対して口が重くなったし、やっぱり負担になっていると思います。優勝決定打を放った時、本当に嬉しそうにしていたよな。彼の場合、感情を表に出さないのが美德のようなところもあるんですが、あんな場面がもっとあってもいいかな。と。そのためにも、世間のみなさんにもっと他の選手にも注目してほしいです。2年連続優勝ではずみがついているし、この調子なら来年のV3のチャンスも十分あると思います。

(10月15日神戸市産業振興センターにて)

10月24日、オリックスブルーウィーブは日本シリーズを四勝一敗で神戸に華を飾り、坂本予想が当たりました。

オリックス・ブルーウェーブ 日本一おめでとうございます！



写真提供/デイリースポーツ

がんばる神戸をありがとう

神戸東洋医学センター

所長 富金原 伸伍

神戸市中央区中山手通5-1-1
神戸山手阪神ビル（旧浜地ビル5F 501）
電話 (078)371-3203

日本一おめでとうございます。
神戸を元気づけて下さり心より
お礼申し上げます。

株式会社ジェイ・ティー・ピー
六甲アイランドエンタープライズ
神戸ベイシェラトンホテル&タワーズ

代表取締役社長 大喜多 久

神戸市東灘区向洋町中2-13
電話 (078)857-7000

日本一おめでとう！
オリックス・ブルーウェーブ

関西日印文化協会

会長 桑原 泰葉

神戸市北区鈴蘭台東町9-7-26
電話 (078)591-5633

優勝ありがとう。
来季は平井投手の先発に期待します。

今啓パール株式会社

代表取締役社長 今井 啓介

神戸市中央区山本通2-6-15パールビル
電話 (078)242-3399（代）

約束を成し遂げる事の素晴らしさと
勇気を与えてくれてありがとう。

ディティエスエス株式会社

代表取締役 大下 幸夫

神戸市中央区栄町4-2-1
電話 (078)371-5900

優勝おめでとう！少年に夢を与えた
イチロー、初心を忘れずに。

有限会社ティエスプラン

代表取締役 霜寄 敏文

明石市朝霧崎町3-15-12
電話 (078)911-1507

株式会社共進牧場

取締役会長 中尾 作蔵
取締役社長 大野 保男

神戸市中央区橘通1-2-12
電話 (078)371-1761

めざせV3！我々も音楽の
チャンピオンをめざします
パークリー音楽学院提携校
甲陽音楽学院

学院長 菅内 孝憲

神戸市灘区篠原南町5-4-1
電話 (078)882-5460
入学お問い合わせ専用 ☎0120-117540

優勝おめでとうございます。

よみうり文化センター写真講座 監督・指導
神戸カメラマン協会常任理事 事務局長
山崎真司写真塾 主宰

山崎 真司

神戸市西区伊川谷町有瀬453 1-1
電話・FAX (078)911-9922

オリックス・ブルーウェーブ 日本一おめでとうございます！



| | | |
|---|---|--|
| <p>アンチ巨人の友人達よ阪神ファンの 皆様もこの際一緒にオメデトウ</p> <p>株式会社 アイド</p> <p>初代・神戸マイスター 井上 誠</p> <p>神戸市東灘区魚崎南町3-17-12 電話 (078)453-3358</p> | <p>恭禧「青波隊」優勝光栄！</p> <p>南京町商店街振興組合</p> <p>神戸市中央区栄町通1-3-18 電話 (078)332-2896</p> | <p>全員野球のオリックス。 めざせ、V3。</p> <p>高貴茶 杜仲葉 富士杜仲株式会社</p> <p>代表取締役 上本 富士哉</p> <p>尼崎市武庫之荘1-19-12 電話 (06)432-0770</p> |
| <p>株式会社加美乃素本舗</p> <p>代表取締役社長 宮崎 幸三</p> <p>神戸市中央区熊内橋通3-3-25 電話 (078)231-1455</p> | <p>財団法人井植記念会</p> <p>理事長 井植 貞雄</p> <p>神戸市垂水区青山台1-21-1 電話 (078)751-5216</p> | <p>日本一、おめでとう。来年は巨人が などと密かに思っています。</p> <p>株式会社ティエラ</p> <p>代表取締役 増澤 空</p> <p>神戸市中央区東川崎町1-3-3 神戸ハーバーランドセンタービル19F 電話 (078)371-1565 (代)</p> |
| <p>ナニワ印刷株式会社</p> <p>取締役社長 西井 幾雄</p> <p>大阪市北区天満1-9-19 電話 (06)351-7271</p> | <p>株式会社ワールド</p> <p>代表取締役社長 畑崎 廣敏</p> <p>神戸市中央区港島中町6-8-1 電話 (078)301-3111</p> | <p>株式会社淡路屋</p> <p>取締役社長 寺本 滉</p> <p>神戸市東灘区魚崎南町3-6-18 電話 (078)453-1682</p> |